

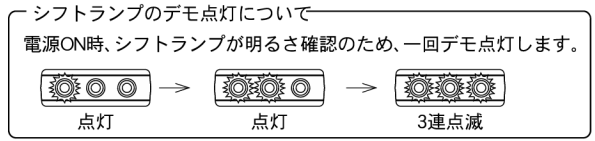
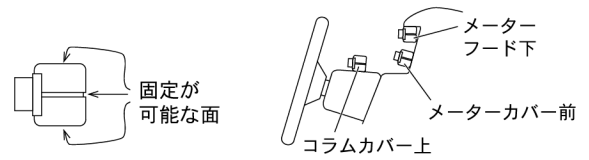
特長

■3連シフトランプ

- F1やGTレース、ラリー等と同じ、予告点灯機能式シフトランプ。シフトポイントの手前の回転から、予告点灯として1灯目、2灯目を点灯し、シフトポイントとなる3灯目に達すると、3灯目がフラッシュ点滅となります。
- 予告点灯、シフトポイント共に、自在にワンタッチで設定可能。
- 点灯する順番は、左・中・右どこからでも自由に設定可能。
- ランプ本体は、薄型・軽量で様々な方向での固定が両面テープで簡単に出来ます。

■マイコン制御式コントローラー

- マイコン制御にて、エンジン回転設定をワンタッチで簡単に行えます。
- シガライターへ差し込むだけの簡単接続で、オート検出回路がエンジン回転を分析、判断します。
- 高精度な設定や、オート検出がしにくい車種用として、回転信号配線にも対応。
- ランプ照度調整機能付。



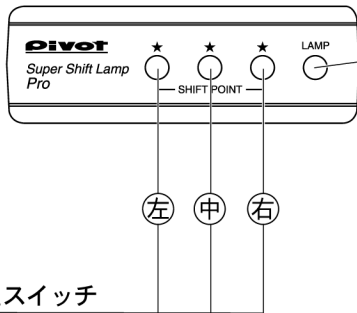
セット内容



コントローラー部の名称と操作方法

予告点灯とは、シフトポイントでの操作をスムーズに行うため、シフトポイント付近の回転に近づいていることを知らせるためのものですので、お好みの付近に設定して下さい。又、目安としてはシフトポイントの約500rpmずつ低いポイントからの点灯が一般的です。

<FRONT>

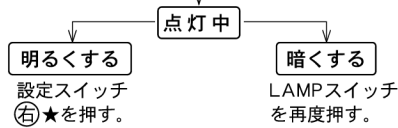


予告点灯・シフトポイント設定スイッチ

シフトランプを予告点灯～シフトポイント点滅させる回転数を設定

ランプ照度調整スイッチ

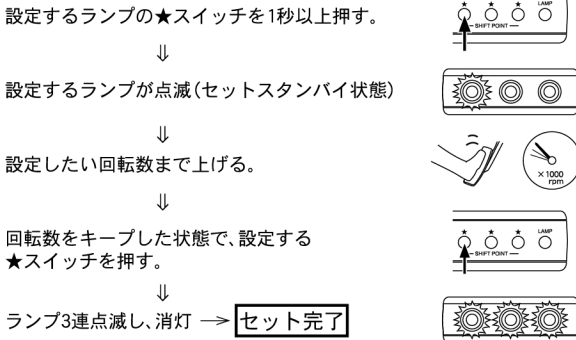
1回押すと、ランプが現在セットされている明るさで点灯。



お好みの明るさでスイッチを押すのをやめるとセットされ、しばらくしてランプが消灯します。

[ランプの点灯順番]
ランプは(左)(中)どの順番でも点灯できます。又、設定した最高回転がシフトポイントの3連点滅となります。

【基本設定方法】



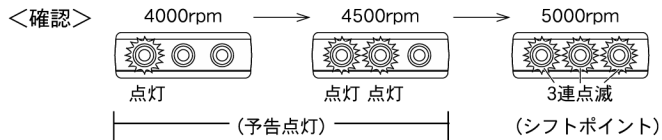
【設定例】

- Ⓔ = 4000rpm (予告 1 灯目)
- Ⓜ = 4500rpm (予告 2 灯目)
- Ⓡ = 5000rpm (シフトポイント = 3 連点滅)

- ① 4000rpm
1. Ⓔ ★スイッチを1秒以上押す。→ 左ランプ点滅
2. 4000rpmで Ⓔ ★スイッチを押す。→ ランプ3連点滅し、消灯 → **セット完了**

- ② 4500rpm
● Ⓜ ★スイッチにて Ⓔ と同じ方法で4500rpmにセット。

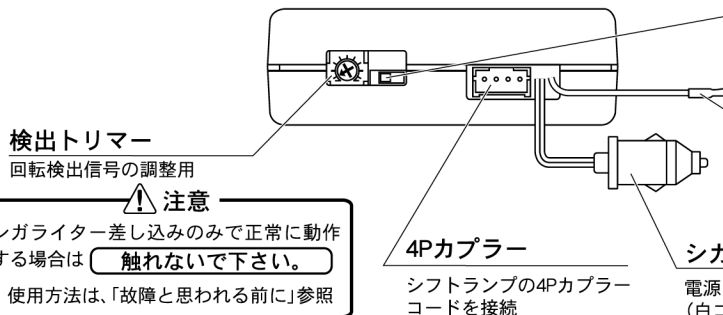
- ③ 5000rpm
● Ⓡ ★スイッチにて Ⓔ と同じ方法で5000rpmにセット。



注意 設定は、事故防止のため、安全な場所へ停車して行って下さい。

<REAR> シガライタープラグのみの場合(回転オート検出)

通常はこの取り付けのみで動作します。



注意
シガライター差し込みのみで正常に動作する場合は **触れないで下さい。**
使用法は、「故障と思われる前に」参照

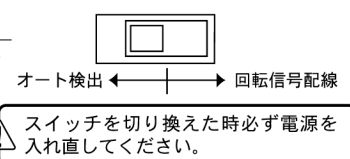
回転信号配線を行う場合

クルマ側のオルタネーター等の特性上、回転オート検出ではランプの動作が不安定、又はバラつきが多くなってしまいう一部車種やレースカー等の場合は配線、及び下記スイッチで操作して下さい。

回転信号切換スイッチ

接続した回転信号により、切り換える。

- 回転信号配線した場合 Ⓡ
- 回転オート検出の場合 Ⓔ



白コード (回転信号配線用)

先端のチューブを外し、付属の延長白コードで延長して、エンジンコンピューターの回転信号 (TA)へ接続します。

シガライタープラグ
電源と回転検出信号を得るために接続。
(白コードを接続した場合は、電源のみ)

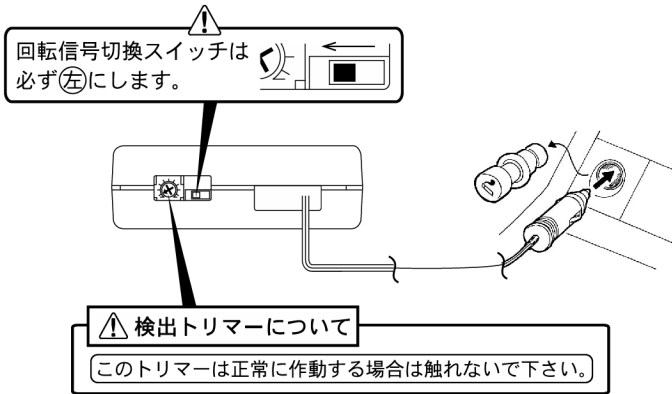
シガライタープラグのみの場合(回転オート検出)

通常はこの取り付けで動作しますが、下記の場合は高精度で安定性の良い回転信号配線を行って下さい。

原因=クルマ側のオート検出用波形が不安定な為、製品故障ではありません。

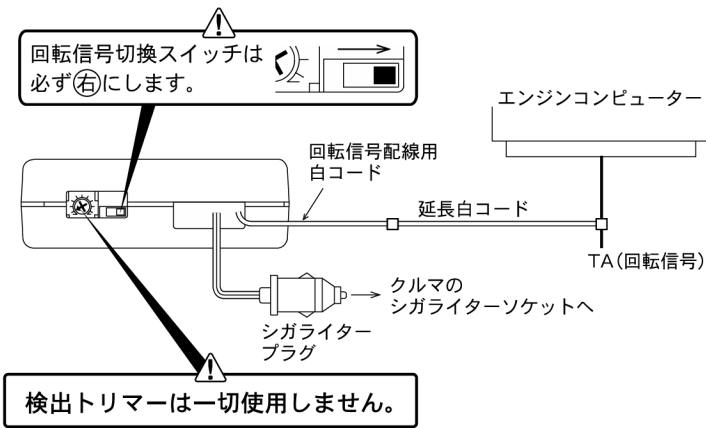
1. エアコン、電動ファン、ライト等の作動時と作動しない時のズレが大きい。
2. 検出トリマーを調整しても不安定な作動となる。

1. コントローラーのシガライタープラグを抜き取り、ソケット内のゴミや汚れを取ってキレイにします。
 2. コントローラーのシガライタープラグをシガライターソケットへ確実に差し込みます。
- 接続完了



回転信号配線を行う場合

1. 回転信号配線用白コードを先端のチューブを外して、付属の延長白コードで延長します。
2. 延長白コードの先端をエンジンコンピューターの回転信号(TA)へ接続します。(TAの場所は、「エンジンコンピューター別回転信号配線一覧表」をご覧ください。)
3. クルマのシガライターソケット内をキレイにして、コントローラーのシガライタープラグを確実に差し込みます。



シガライタープラグを使用しない場合

シガライタープラグを使用せず、直接配線接続する場合は次のようにします。

- ① シガライタープラグのコードを切断する。
- ② 白線側をACC ⊕ 12Vへ接続する。
- ③ 線なし側をボディアースへ接続する。



コントローラーとシフトランプの固定

1. シフトランプの4Pカプラーコードをコントローラー<REAR>の4Pカプラーへ差し込みます。
2. コントローラーは、付属の両面テープ(大)で、シフトランプは両面テープ(小2枚つづり)を使用して、確実に貼付固定します。

注意

貼り付ける場所の汚れや油分等をキレイにして、確実に貼り付けて下さい。貼り付け直しは、両面テープの性能を損ないますのでおやめください。

故障と思われる前に

※修理依頼なされる前に、次の項目をご確認下さい。

症状	原因	対策
シフトランプが点灯・点滅しない。	・コントローラー<REAR>の検出トリマーが右に回してある。	・検出トリマーを左いっぱいにする。
	・シガライター差し込みのみの接続で、回転信号切換スイッチが右(検出トリマーの反対側)になっている。	・左(検出トリマー側)へ確実に切り換え後、電源を入れ直す。
	・延長白コードの接続、接触不良。	・各部の接続場所・接触状態を確認する。
エアコン、電動ファン、ライト等の作動時と作動しないときのズレが大きい。	・クルマ側のオート検出用波形が不安定なため。	
エアコン等を作動させると低回転でランプが作動する。	・クルマ側のオート検出用波形が不安定なため。	検出トリマーを左いっぱいから少しずつ右へ回し、不安定作動しない位置へ調整。
・不安定な作動となる。 ・低回転が不安定。	・クルマ側のオート検出用波形が不安定なため。	・検出トリマーを調整。 ・3000rpm以上で使用する。

注意

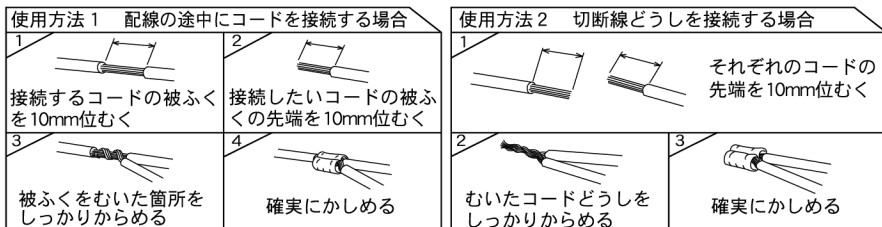
検出トリマーを右に回し過ぎると、それまでに設定した回転数で点灯・点滅なくなる場合があります。
→再度シフトポイント設定を行って下さい。

シガライタープラグのみの場合で上記調整等を行っても改善されない場合は

回転信号配線を行って下さい。

カットギボシの使用法

※半田付けができる場合は行って下さい。



※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオペンチ等で折りたたむようにしっかりとかしめて下さい。(下図) ※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かしめた状態を今一度お確かめの上、

確実にビニールテープ等で絶縁をして下さい。

